

平成31年度

仙台市国民健康保険事業特別会計

予算案(概要)について

1 国民健康保険事業特別会計の平成 31 年度予算編成について

(1) 被保険者数・世帯数

近年の推移から、平成 31 年度は、被保険者数、世帯数ともに減少するものと見込んでいる。

(2) 歳出

・ 保険給付費

1 人当たり医療費が増加する一方、被保険者数は減少傾向となっており、平成 31 年度は医療費全体としては、平成 30 年度当初予算に対し若干減少する見込みである。

・ 国民健康保険事業費納付金

県は、県内各市町村の保険給付に要する費用、後期高齢者支援金、介護納付金等を支出することとなっており、県内各市町村はその財源として国民健康保険事業費納付金を県に納付する。当初予算編成においては、県から示されている納付金額を歳出予算として計上している。

(参考：国民健康保険事業費納付金の年度間比較)

	国民健康保険事業費納付金
平成 30 年度 (本算定ベース)	25,462,529 千円
平成 31 年度 (仮算定ベース)	25,498,499 千円
差 引	35,970 千円

(3) 歳入

・ 県支出金及び財政調整基金繰入金

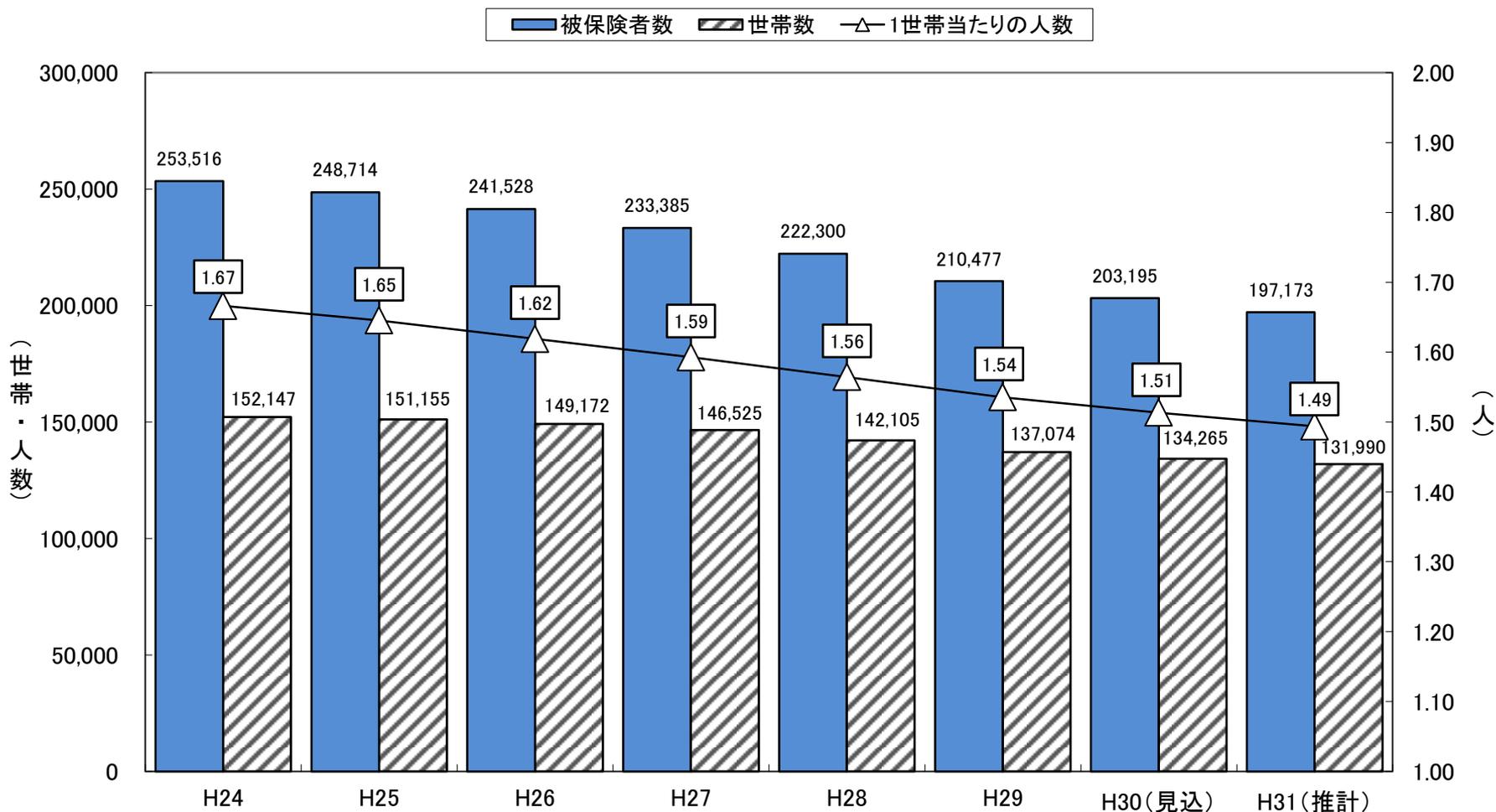
震災以降交付されている国の特別調整交付金（震災特調）が減少する見込となっている。

震災特調減少の影響を緩和し、安定的な財政運営を行うため、財政調整基金の一部を取崩す予定である。

・ 国民健康保険料

被保険者一人当たりの医療費が増となっていることに伴い、一人当たりの保険料負担額も若干増加する見込みとなっている。被保険者数の減に伴い、保険料全体としては、若干減少する見込みである。

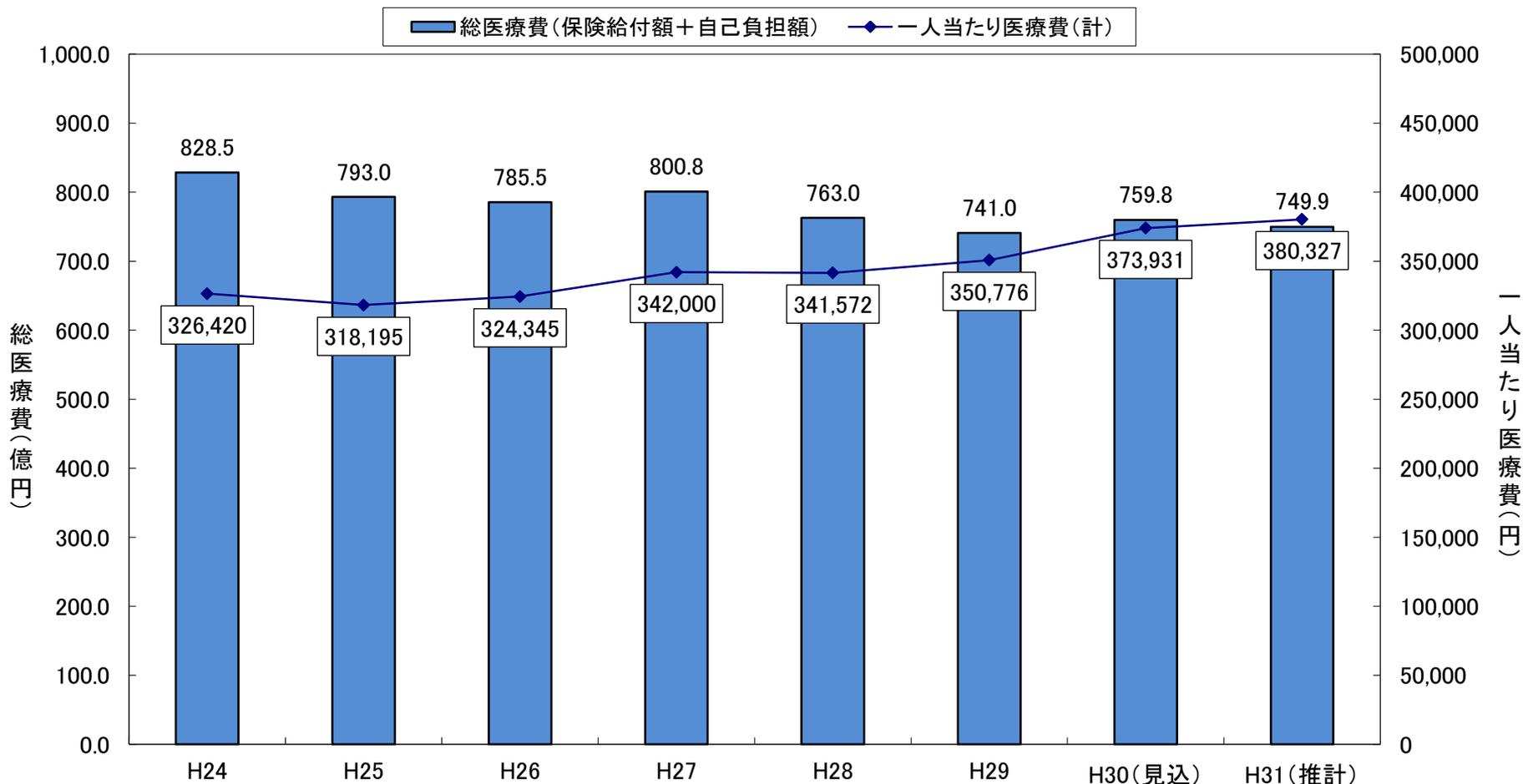
2 世帯数・被保険者数の推移



注1) H24～H29は各年度の4月～翌3月平均。H30は見込。H31は予算編成時の推計。

注2) 一般被保険者＋退職被保険者

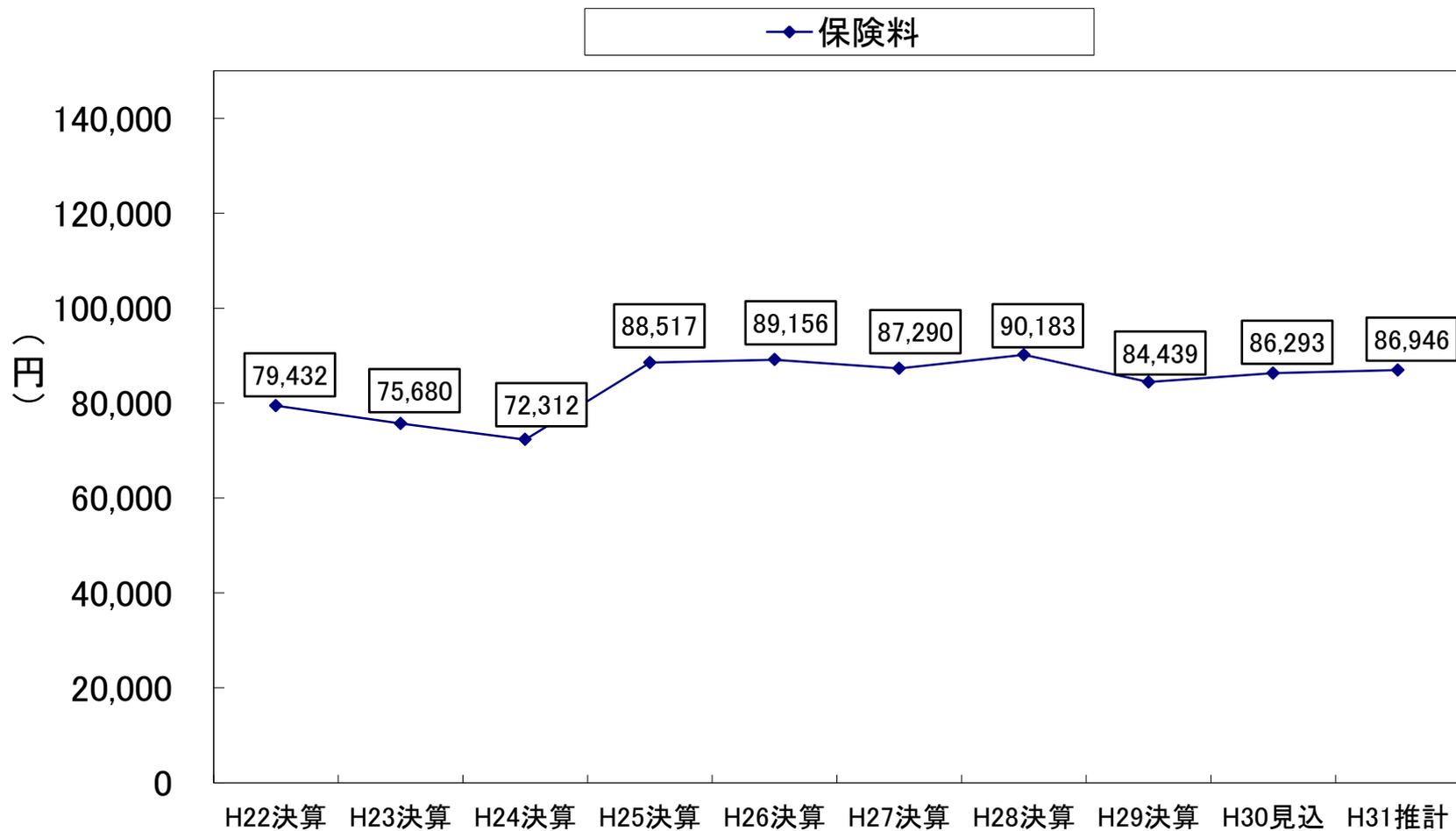
3 医療費の推移



注1) 総医療費は、H24～H29は各年度の実績。H30は見込。H31は予算編成時の推計。

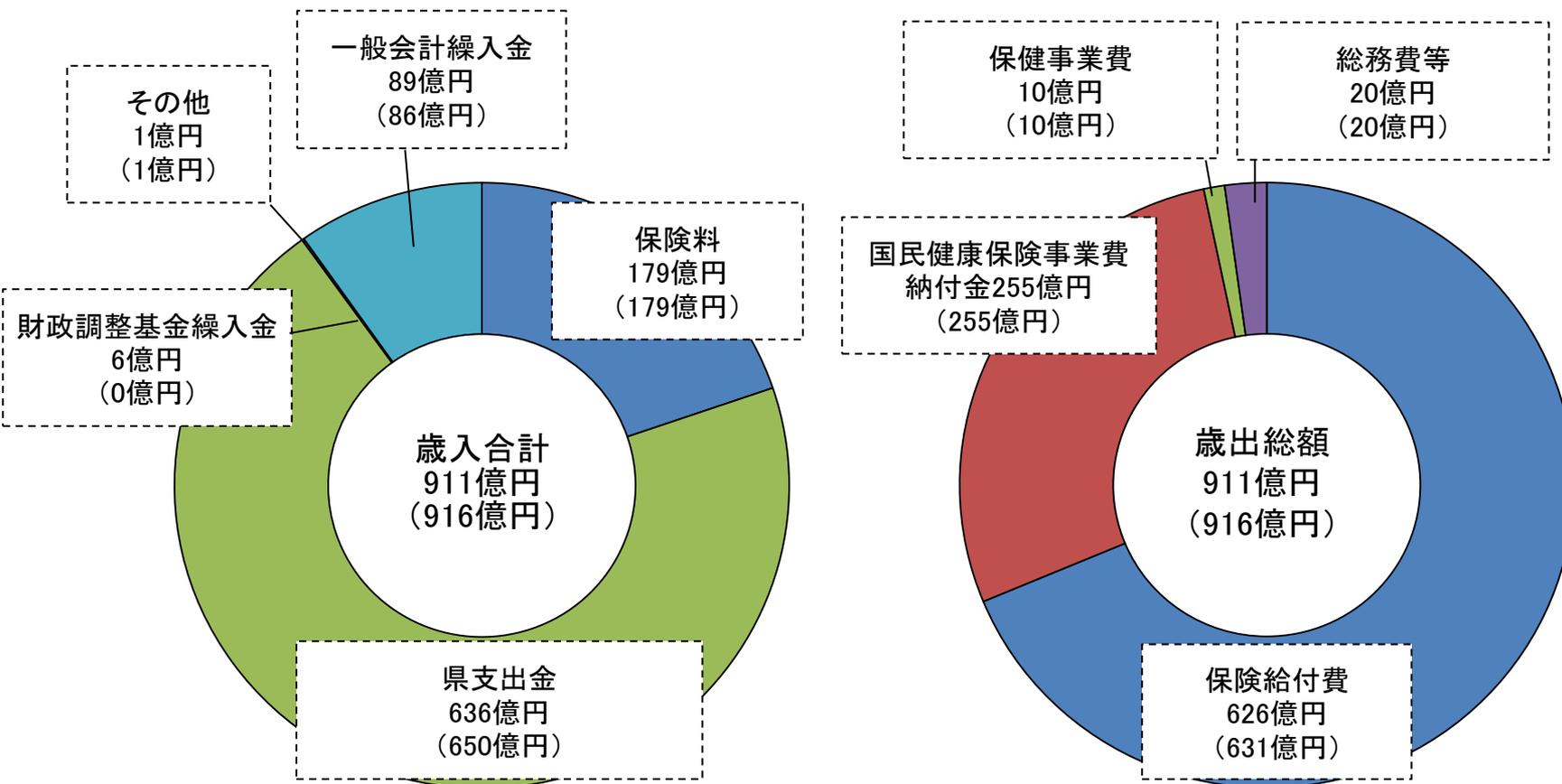
注2) 1人当たりの医療費は、一般被保険者＋退職被保険者により算出。

4 被保険者一人当たりの保険料の推移（介護分除く）



注) 保険料＝医療分＋支援分(40～64歳の被保険者については、これに加えて介護分の保険料が賦課される)

5 平成31年度 国民健康保険事業特別会計予算案



注)各項目の()内の数値はH30年度当初予算額